



#### 野崎島の集落跡

港近くに神社の氏子が住む野崎集落があったため、移住した潜伏キリシタンは未開拓地に集落をつくった。写真は、白浜海岸に近い野首集落跡。写真左側が解禁後に建てられた旧野首教会堂

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産を訪ねて

密かな信仰の証

⑧ 野崎島の集落跡 (小値賀町)

## 神道の聖地に移住して信仰を継承した集落

五島列島の北部、小値賀島の東沖に位置する野崎島。704年、この島に小値賀本島の地ノ神嶋神社と向かい合う形で沖ノ神嶋神社が建てられました。この神社に格式の高い神が祀られたため、五島一円に氏子が広がり崇敬されました。

江戸時代後期、神道の聖地であった野崎島に潜伏キリシタンが移住。神官が住む野崎集落から離れた険しい斜面地を開墾し、島の中央部に野首集落、南部に舟森集落をつくり、表向きは沖ノ神嶋神社の氏子となりつつ、密かに自分たちの信仰を守り続けました。

禁教令が解けるとカトリックに復帰。2つの集落にはそれぞれ教会堂が建てられ、島の人口は650人ほどに増えました。1960年代に入ると急速に過疎化が進み、集落は廃墟となりましたが、野首集落・舟森集落の跡は禁教期に神道の聖地に移住した潜伏キリシタンの営みを今に伝えています。



#### 沖ノ神嶋神社

野崎港から直線距離で約3km、険しい山の斜面に建つ。日本武尊の子と伝えられる鴨分一速王命を祀る格式の高い神社で、五島列島で最も古い神社の一つ。社殿の奥には、古来より「王位石」と呼ばれる高さ24mもの巨石がそびえ立つ

県では、皆さんからの寄附をもとに構成資産の修復や耐震対策などの事業を行います。ご協力をよろしく願います。

長崎県 構成資産へ寄附 検索

問合せ 県の世界遺産登録推進課 ☎095-894-3171

長崎から世界遺産を 検索